

# 今後の進め方

昨年度までの実績と今年度の方針

## 社会実験の実施・効果検証



協議会で検討した「エリアづくりの3つの視点」について、効果検証を実施

利活用空間により、多世代による多様な活動、交流、滞在等の新しい魅力や他エリアへの回遊を生み出せるエリアとしてのポテンシャルを確認



## 今年度の方針

「仙台の顔」としてのエリアの将来ビジョンについて、  
**官民で「共通の認識」**を持ちながら、進めていきたい

※今年度は、青葉通駅前エリアに求められる機能、空間、要素、規模感を検討

駅へのアクセシビリティと今後検討する新たな魅力(求められる機能・空間・要素)の関係性

## 駅へのアクセシビリティ

市としては、  
仙台駅は「仙台の重要な交通拠点」

・H24～R5にかけて、仙台駅周辺の  
再整備を実施

### 【委員の意見】

青葉通が他の通りと異なる最大の要素  
・「仙台駅につながる道。アクセシビリティは重要」



将来ビジョン検討においては、  
「駅へのアクセシビリティ確保」の要素を  
十分に踏まえる

## 「新たな魅力」の要素 (活動・交流・滞在など)

【社会実験では…】

・アンケート回答のうち、  
全体の7割が「良い評価」との意見

・「楽しい」「嬉しい」などの好印象を与えた



顔に「表情」を加えることで、  
顔をより「豊かに」できるのでは？

「駅へのアクセシビリティ」は駅前エリアの重要な要素であることを念頭において  
「広場化」「車線削減」ありきではなく、  
「新しい魅力」の要素である機能・空間を沿道開発との連携を見据えながら検討

【それぞれのバランス感が重要】

# 今後の進め方

将来ビジョンの策定目的と構成等

## 将来ビジョンの策定目的

「仙台の顔」として、このエリアの将来のあり方について  
官民で「共通の認識」のうえ検討した結果を多様な主体と共有するため



青葉通駅前エリアの将来ビジョン構成案は次ページのとおり

### 【留意点など】

- ①「将来ビジョン」は決まりきった形はなく、構成は決まっているものではない
- ②沿道開発との連携を見据えながら検討  
⇒皆さんの意見を尊重しながら構成を検討
- ③広場化、車線削減等の形状に関することはビジョンに盛り込まない
- ④理念、ビジョン策定後のビジョン実現に向けた行動指針（アクション）、ロードマップ、推進体制等を盛り込む

# 今後の進め方

## 将来ビジョンの構成と他都市事例

	青葉通駅前エリアの 将来ビジョン (構成案)	定禅寺通エリアまちづ くりビジョン2030	御堂筋将来ビジョン (大阪市)	自由が丘未来ビジョン (東京都目黒区)	柏の葉ウォークアブル デザインガイドライン (千葉県柏市)	ひろさき、このさき、 VISION BOOK 2050 (弘前市)
策定主体	青葉通駅前エリアの あり方検討協議会	定禅寺通活性化 検討会	大阪市	自由が丘エリア プラットフォーム	柏の葉アーバン デザインセンター	中土手町まちづくり 協議会 (文化交流エリア周辺地 域エリアプラットフォーム)
エリア指定・対象エリア	○	● 区域線を示さず 大まかなエリアを提示	● 広域図を提示 (具体的なエリアは 未記載)	● 対象区域を 明確に線引き	△ 駅周辺エリアを対象 (エリア内の歩行者ルート を設定)	● 区域線を示さず エリアの鳥瞰図を掲載
理念・基本方針	○	●	●	●	●	△ 項目出しはないが、 目的等で記述あり
将来形(将来イメージ) キービジュアル	×	● エリア毎の ショットパース	● 鳥瞰パース	● 方針・エリア毎の ショットパース	×	● エリア毎の ショットパース
アクション (行動指針・取組)	○	●	●	●	●	●
ロードマップ	○	●	● 時期の記載なし	×	×	●
推進体制(関係図)	○	●	●	●	×	●
策定後も内容の更新を 続けていくもの	○	×	×	●	×	●

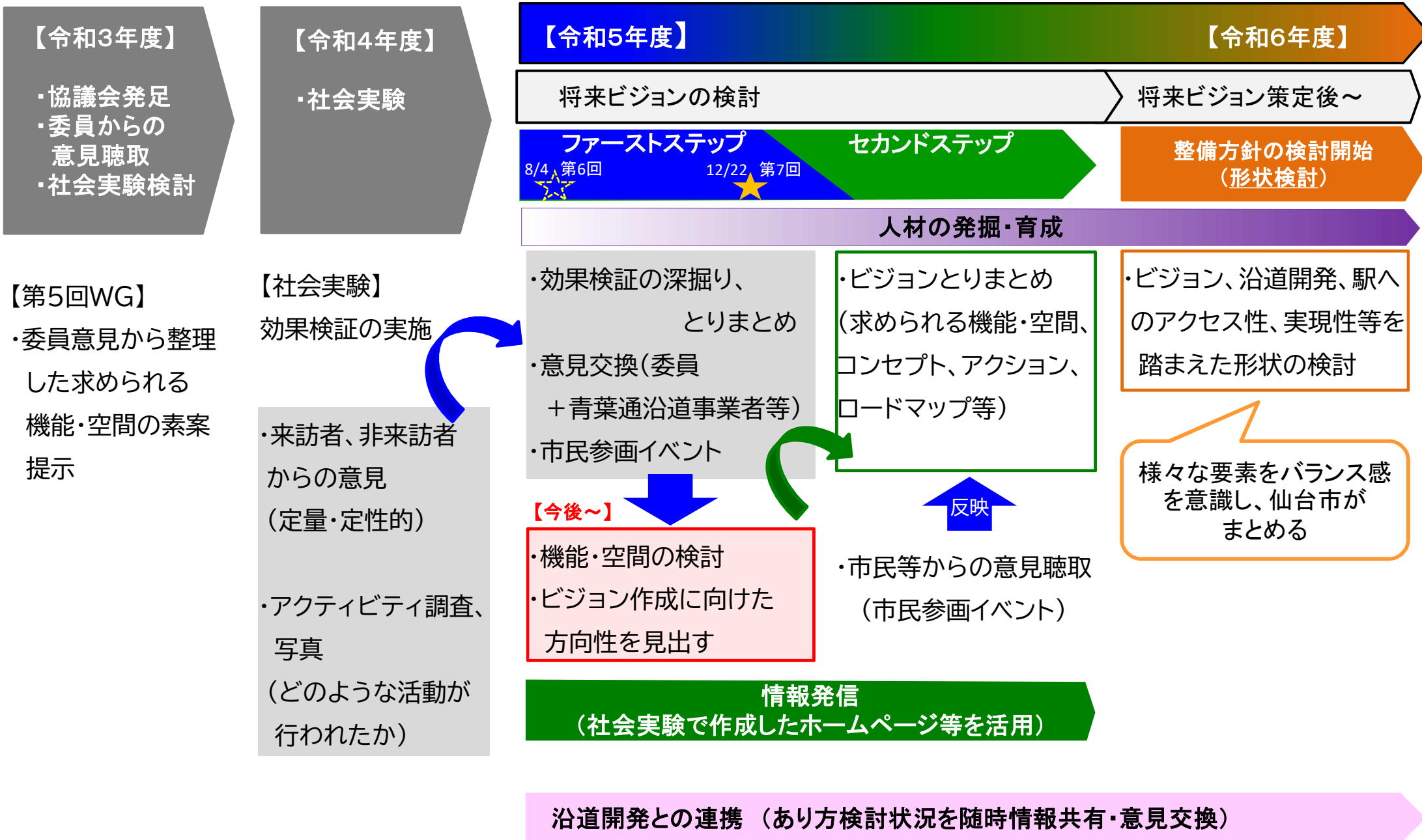
将来ビジョンの構成は、策定主体や地域によってそれぞれ異なる

# 今後の進め方

【更新】R5/12/22  
第8回協議会資料

## 青葉通駅前エリアにおける将来ビジョン作成の進め方イメージ(案)

★ 現在の位置



# 今後の進め方

## 青葉通駅前エリアに求められる機能、空間

### 令和3年度 第5回WGで提示した「求められる機能、空間イメージ(素案)」

#### 視点1:「仙台の顔としてのエリア」

- 仙台の個性や強みを生かした機能・空間（豊かな緑、防災環境都市、学都、文化など）
- 「おもてなし」の機能・空間
- 仙台駅を出た人が認識しやすい機能・空間（特徴的な目印、サイン、アプローチなど）
- 仙台・東北を気軽に体感できる機能
- 他のエリア（東北、仙台市内、都心各エリア）に導く機能（他のエリアを案内する機能、他エリアとの連携など）
- 風が強い日、寒い日を生かした機能・空間

#### 視点2:「多様な活動を生み出していく人中心のエリア」

- 周辺のオフィスワーカー、親子、若者など、様々な人が楽しめる機能・空間
- 居心地の良さを感じる機能・空間
- 来訪者や周辺のオフィスワーカー等が安心できる機能・空間
- アクセスやすく、移動したくなる機能
- 音、色、匂いなど五感を刺激する機能・空間
- 人との交流や出会いを促す機能・空間

#### 視点3:「エリア価値向上のために挑戦するエリア」

- フレキシブルに運用できる機能・空間（必要に応じて歩道空間を広げるなど）
- 将来ビジョンを踏まえつつ、社会のニーズや変化に柔軟に対応する機能・空間
- 隣接建物との相乗効果を発揮する機能・空間（隣接する建物との一体性や連携）
- 新たなコトを起こし、新たな価値を生み出し続けることを意識して機能・空間を考える
- 新たなテクノロジーを積極的に活用することを意識して機能・空間を考える
- このエリアの持続可能な運営を意識して機能・空間を考える（人材発掘・育成、収益事業と維持管理など）

# 今後の進め方

青葉通駅前エリアに求められる機能、空間

令和4年度の社会実験を踏まえた、今年度における検討イメージ

誰が  
(属性×年代)

求めていたこと

機能、空間

社会実験時のアンケート回答  
にて多かった属性を対象

【属性】

- ・学生
- ・社会人
- ・主婦層など

【年代】

属性ごとの年代別にデータ、  
意見分析

⇒効果検証の深掘りを実施

年代・属性ごとに  
効果検証データから言えることは？  
(下記のような視点を踏まえ)

- ・空間面
- ・コンテンツ面
- ・交通面
- ・
- ・
- ・

例

【30代 社会人(親子)】

- ・休めること
- ・遊べること
- ・子連れでも安心できること

【20代 社会人】

- ・様々な人と話せること
- ・自分の居場所と思えること

【40代 主婦(夫)】

- ・駅まで家族をスムーズに送迎

【30代 社会人(親子)】

- ・家族で過ごせる機能、空間
- ・安心感がある空間

【20代 社会人】

- ・交流できる機能、空間
- ・誰かと出会える期待感
- ・安らげる空間
- ・寛容性がある空間

【40代 主婦(夫)】

- ・駅まで車でアクセスできること

将来ビジョン作成に向けた”素材集め”と”とりまとめに向けた整理”を進める



# 今後の進め方

青葉通駅前エリアに求められる機能、空間

令和4年度の社会実験を踏まえた、今年度における検討イメージ

## 社会実験で確認できた利用風景

例：居場所・遊び場となる空間（10歳以下の子ども）



遊具の設置



平日の保育園の散歩での利用

例：交流が起きる空間（10代～高齢者までの老若男女）



ストリートピアノ



焚火

## アクティビティ

- ・しゃがみこめる、休める
- ・お絵かきできる
- ・遊べる
- ・走り回る
- ・親や先生が見守れる場所

- ・パフォーマンスができる
- ・何かを囲んで話ができる
- ・誰もが滞在できる
- ・イベントの開催ができる

## 空間的設え

どのような  
空間的設えにより…

- ①コンテンツが…
  - ・行えた？
  - ・人が集まった？

- ②企画したコンテンツ以外の  
アクティビティが…
  - ・自然に行われた？
  - ・居場所が感じられた？

写真も用い、社会実験で確認できた風景から年代・属性ごとに求められる機能・空間・要素を抽出



# 今後の進め方

将来ビジョン作成のための新体制

## 青葉通駅前エリアの あり方検討協議会

➤ 協議会名で将来ビジョンを策定

交通処理  
ワーキンググループ

➤ 将来ビジョンの内容を検討・議論

利活用  
ワーキンググループ

**新組織**

将来ビジョン検討事務局

- 社会実験の効果検証データの深堀
- 協議会委員等との意見交換
- 将来ビジョンのとりまとめ

将来ビジョンの素案を作成する組織として  
協議会内部に「将来ビジョン検討事務局」を新たに設ける

# 今後の進め方

将来ビジョン作成のための新体制

**将来ビジョン検討事務局** ～社会実験に携わって頂いた方々を中心に構成～

役割		担当		R4年度社会実験担当	
統括・調整		仙台市都心まちづくり課・交通政策課			
連携・協力		青葉通まちづくり協議会			
効果検証データ 深堀	とりまとめ	委員	FOLK GLOCALWORKS	奥口 文結	ブランディング
		委員	KAI ARCHITECTS	貝沼 泉実	空間デザイン
			TORCH	小松 大知	ビジュアルデザイン
			(一社)ONE TOHOKU HUB	伊藤 愛発	プロモーション
	意見交換、 人材発掘の 機会づくり	委員	あいだ研究所 代表	岩間 友希	情報整理 定性調査サポート
			Studio Soda Sendai	昆野 沙耶	情報整理 定性調査サポート
			エンスペース(株)	伊藤 小百合	コンテンツ
効果検証データ分析・サポート		(株)オリエンタルコンサルタンツ			

# 今後の進め方

青葉通駅前エリアに求められる機能、空間

令和4年度の社会実験を踏まえた、今年度における検討イメージ

社会実験における効果検証の深掘から得られたこと  
(将来ビジョン作成に向けた“素材” や 年代・属性ごとに求められる機能・空間・要素)

青葉通に関わる方々と、各立場の前提となる考えも踏まえた意見交換、意見聴取を実施

???どのように実施していくか???

②、③、④にて委員の皆様の意見を伺いながら検討を深めます

## P27、P28の検討

### ① 将来ビジョン検討事務局

・社会実験の効果検証から得られた結果をテーマ設定のうえ議論&深掘

### ② 将来ビジョン検討事務局 × 委員、青葉通沿道のオフィスワーカー等との意見交換

- ・①の議論内容等を踏まえて実施
- ・意見を出しやすいように社名、氏名等は公表せず、要点を公開

### ③ 【必要に応じて】委員との個別意見交換

- ・①の議論内容等を踏まえて実施
- ・いただいた意見は社名、氏名等は公表しない形で検討に活用

### ④ WGでの共有・意見交換

①～③を踏まえて実施

### ⑤ 市民参画イベント

市民等、幅広い方から意見聴取

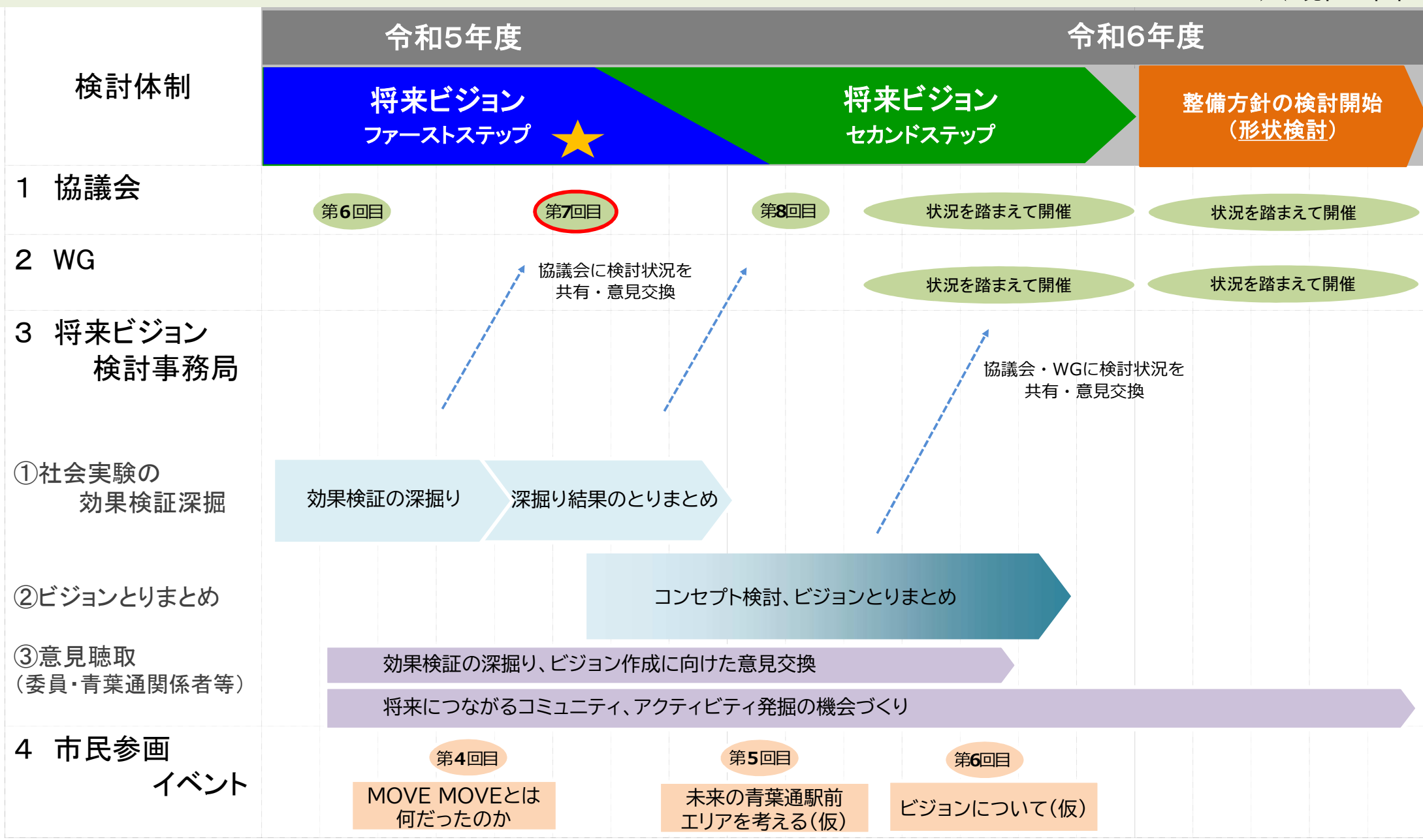
②、③、④、⑤の4つの機会で、「意見交換」、「人材発掘の機会づくり」

# 今後の進め方

【更新】R5/12/22  
第8回協議会資料

## 将来ビジョン作成に向けたスケジュール

※各ステップを丁寧に進めていくことが重要 ★現在の位置



沿道開発との連携 (あり方検討状況を随時情報共有・意見交換)